

# 知津狩川の源流をさがせ！



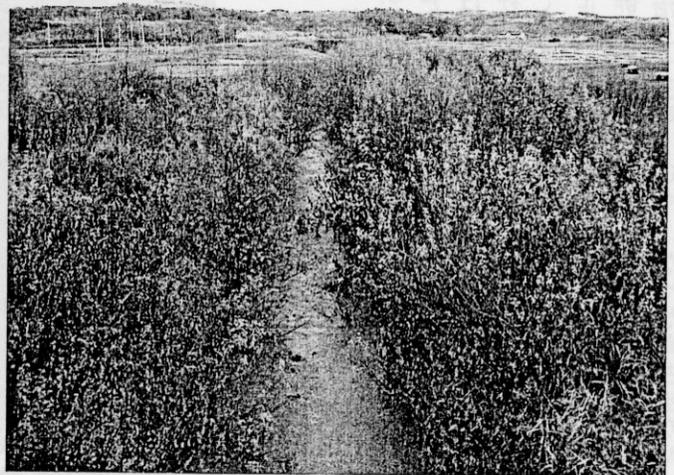
▲知津狩川は、石狩市と厚田村の境界を流れ、石狩川河口部に注いでいます。源流は阿蘇岩山中腹にありそうです。

**大**河の水も最初は一滴から。石狩川の源流は大雪山系のどこなのか、いまだに議論が続いているようですが、それでは石狩市内に源流を持つ川はあるのでしょうか。

石狩市北辺、厚田村との境界線上を流れる「知津狩川」は、石狩市最北端の阿蘇岩山中腹から五の沢く高岡の水田地帯を流れ、石狩川の河口近くに注ぐ川です（左図）。全長およそ十数キロメートル。小さい川ですが、四十八市町村を通り抜けてくる石狩川よりも、こちらの方が「石狩の川」という感じがしませんか？

地形図をよく見ると、どうやら市内に源流がありそうです。

知津狩川の最初の一滴はどこから？ その答を求めて上流部に入ってみました。



▲高岡の水田地帯を流れる知津狩川中流部。左上に見えるのは阿蘇岩山。

**川**の流れは田畑の広がる中流部までは道路沿いですが、上流部は、けもの道すらない沢筋をたどらなければなりません。

人の痕跡はほとんど無く、あるのはシカの足跡くらい。ときにひざまで水につきたり、ときに背丈より高いさやぶをかき分けて行くため、わずか十メートル進むのにも何分もかかってしまいます。

流水に削られた川床やがけには、ところどころ硬い泥岩が露出してます。

これは厚田村の望来海岸のがけの地層と同じもので、今からおおよそ七百万〜八百万年前の海の地層です。岩のすき間から石油がにじみ出ている所もあります。

**や**がて前方から水の流れ落ちる音がしてきました。滝かと思って進んでみると、砂防ダム。けっこう古そうなので地形図にも載っていない忘れられたダムでした。上流側はすでに土砂で完全に埋まり、長靴がズボズボ沈む沼地状態。しかたなく回すことにしました。

尾根が上がってルートを探しているそのとき。上流のやぶの中から「グオオオオオ」という声(?)が。続いてガサガサ、と何かが動く音。犬？ シカ？ ほかの人間がいるような形跡はなかったし…。

とりあえず、あわてて退散しました。知津狩川最初の一滴は再アタックまでお預けです。

(志賀健司)



▶川の流れの向こうには砂防ダム。その上流側には沼地が広がっていました。今回の源流調査はここで断念。